



平成28年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「児童労働を強いられている子どもたちのための総合支援センター通学バス
整備計画」

2020年3月10日、チリキ県ボケテ市において、「児童労働を強いられている子どもたちのための総合支援センター通学バス整備計画」の引渡式が行われ、本使夫妻をはじめ、ゴンザレス・バホボケテ地区長等、多くの方々が出席しました。

同市はコーヒーの生産が盛んである一方で、多くの農園で児童労働が行われています。Casa Esperanza基金は、2000年に同市に支援センターを開設し、多くの子どもたちに対する学習補助、給食提供、健康管理、保護者への義務教育に対する理解促進等の活動を行ってきましたが、これらの生徒を継続的に義務教育に参加させるには、同施設及び義務教育機関への送迎バスの支援は不可欠なものでした。

今回の無償資金協力によって供与された通学バスが、貧困層の子ども達の義務教育を保障し、格差社会の是正に寄与することを心より願っております。

【供与額：58,608ドル】

